

## 第6回新型コロナウイルス感染症に係る危機対策本部会議 議事録

日時：令和2年3月25日（水）12：00～12：10

場所：第三応接室

### ○松野危機管理局次長

それでは、ただ今から、第6回新型コロナウイルス感染症に係る危機対策本部会議を開催します。

はじめに、健康福祉部長から説明があります。

### ○有賀健康福祉部長

健康福祉部です。

本日、本県において4件、新型コロナウイルス感染症患者が発生しましたので報告します。いずれも陽性1例目の患者が参加した観光ツアーの参加者でございます。

3例目になる方ですが、こちら60歳代の男性。4例目が60歳代の女性で夫婦になります。居住地は八戸市で自営業でございます。

両者のこれまでの経緯でございますけれども、3月9日から15日までスペインへ旅行し、16日に成田空港到着後、新幹線で八戸に帰着されています。

両者とも現時点で症状は見られないものの、本日、環境保健センターでPCR検査の結果、陽性の反応が認められました。

両者とも感染症指定医療機関等に入院予定です。

夫の行動歴ですが、3月17日にD医療機関で検診を受けておられまして、同日から23日まで、ご自身がもっておられる店舗にいらっしゃったということですが、その間、接客はしていないということでした。

その他の行動歴については、現在、確認中です。

濃厚接触者の状況ですが、家族は4例目にあたる方の妻と母、そして別居されている妹さんということになります。その他については、八戸市保健所で調査中です。

4例目の奥様、妻の方の行動歴でございますけれども、3月17日は店舗にいらっしゃいましたけれども、接客、この方も接客はしていないということです。

18日は自宅で過ごして、19日から23日までは同じく店舗にいらっしゃったということですが、接客はしていないということです。

その他の行動歴について、現在、確認中となります。

濃厚接触者の状況は、夫と同様ということになります。

5例目の方ですが、70歳代の女性であり、居住地は八戸市で無職の方です。

経緯についてですが、3月9日から15日まで、同じくスペインへ旅行。16日に成田空港到着後、新幹線で八戸に帰着しましたが、同日の夜間、熱が37℃あったということ、そして頭痛、鼻水、軽度の咳がありまして、19日朝まで37℃の熱が続いて、その後は24日まで症状がなかったということですが、本日、環境保健センターでPCR検査の結果、陽性の反応が認められました。

この患者さんは、感染症指定医療機関等に入院予定ですけれども、この方について、現時点での容体は安定しているということです。

行動歴については、現在、確認中ですが、帰国後は、できるだけ外出しないように気を付けておられたということで、国内でもマスクを着用していたということです。

濃厚接触者の状況についてですが、ご家族が姉のみということで、その他について、八戸市保健所で調査中になります。

6例目でございます。こちらも70歳代の女性ということで居住地は八戸市、そして無職ということですが。

経緯ですが、同じ3月9日から15日までスペインへ旅行。16日に成田空港到着後、新

幹線で八戸市に帰着。21日に発熱があった。これは37.8℃。22日に37.3℃ということでした。23日からは、熱は下がっていたということですが、本日、環境保健センターでのPCR検査の結果、陽性の反応が認められたということです。

この患者さんも、感染症指定医療機関等に入院予定ですけど、容体は安定しているということです。

行動歴ですが、帰宅後に外出はしていないということで、国内ではマスクを着用していたということです。

この方の濃厚接触者について、現在のところ、確認されていませんけれども、再度、八戸市保健所で調査中になります。

これに伴った県の対応ですけれども、全ての感染源について八戸市保健所が実施する積極的疫学調査等への支援を行うということとしておりまして、既に県の保健師を昨日4名、本日8名派遣しておりまして、明日以降も複数名の保健師を派遣することとしています。

県としては、八戸市保健所と連携の上、感染者に対する医療措置や濃厚接触者の健康観察を適切に実施し、感染拡大の防止に向けて、迅速かつ全力で対応したいと考えております。

ご報告は以上です。

#### ○松野危機管理局次長

それでは、本部長から指示事項と県民へのメッセージをお願いします。

#### ○三村本部長

3月23日、本県において初めてとなる新型コロナウイルス感染症患者が発生しましたが、その同行者9名についてPCR検査を実施いたしましたところ、本日、4名の感染を確認、残りの5名は陰性でした。

健康福祉部においては、引き続き八戸市保健所が実施する積極的疫学調査等への支援を行うほか、八戸市保健所と連携の上、感染者に対する医療措置や濃厚接触者の詳細の把握、健康観察を適切に実施し、感染拡大の防止に向け、迅速かつ全力で対応すること。

そして、県民の皆様方に対して、正しい情報や感染防止対策を分かりやすく周知し、県民の不安解消に努めること。

各部局においては、関係者に対し、感染防止策の徹底を依頼すること。

以上、危機対策本部のもと、全庁連携して対応に万全を期すよう指示をいたします。

続きまして、県民の皆様方にお話をさせていただきたいと思います。

県では、県民の皆様方に正しい情報や感染防止対策を分かりやすく周知し、不安解消に努めて参りますので、冷静な行動をお願いいたします。

また、「換気の悪い密閉空間」、「人が密集している」、「近距離での会話や発声が行われる」といった3つの条件が同時に重なる場所は避けていただきますとともに、手洗い、咳エチケットの徹底、風邪のような症状がある場合には、会社等を休むなど、拡散拡大防止に繋がる行動をお願いいたします。

特に高齢者の方や基礎疾患をお持ちの方は、人ごみの多いところを避けていただきたいと思います。

なお、流行地から帰国された方におかれましては、何卒、帰国後2週間は、不要不急の外出を自粛してください。

そして、毎日検温するなど、健康観察をしていただきますほか、症状が出ました場合には、医療機関を受診する前に、まずは保健所に設置しております「帰国者・接触者相談センター」に事前に連絡していただきたいと思います。

同センターが、帰国者・接触者外来に御案内をいたします。

以上であります。

○松野危機管理局次長

以上をもちまして、第6回危機対策本部会議を終了いたします。